

# 第1回千葉県消防広域化推進検討委員会議事録

日時：令和6年10月8日（火）

10:00～10:45

場所：千葉県自治会館9階 第3会議室

## 【会議概要】

- ・国の基本指針改正を踏まえ、県の現行計画の改定方針について説明した。
- ・主に議事2，4について、以下のとおり議論が交わされた。

## 【議事(1)「千葉県消防広域化推進計画」の概要について】

（委員）意見なし

## 【議事(2)消防広域化に向けた主な取り組みについて】

（委員）

埼玉県ではここ20年間で40数本部が26本部まで減少し広域化が進んでいるが、千葉県では計画策定以降広域化が進んでいない状況の中で、どのような振り返りがあって今回の計画策定にあたるのか。

（消防課）

印旛地域をリーディングケースとして広域化を推進してきた中で、すでに指令の共同運用によるメリットがあることから、より小規模の広域化には消極的な意見を聞いている。県内2ブロック、県内全域といった、より大規模なブロックでの広域化が望ましいとの意見を踏まえ、今回の計画骨子案を示させていただいた。

## 【議事(3)国の基本指針改正の主な内容について】

（委員）意見なし

## 【議事(4)「千葉県消防広域化推進計画」の改定骨子(案)について】

（委員）

計画骨子案の中で第3を全面改定するとの話だが、いきなり共同指令センター単位という形とするのか、いくつかの広域化をしながら最終的に2ブロックとするのか。

（消防課）

現時点の骨子案では2ブロックとする絵を描くが、それは最終的な目標として置き、関係市町村による2ブロック以外の組み合わせ提案に対しては柔軟に対応するイメージである。

(委員)

平成31年から5年間、印旛地域でさえ進展が無い中で、令和11年4月1日までに本当に実現することができるのか。印旛地域でさえまとまらない中、2ブロックという絵を描いて、5年間で広域化できるのかというのが率直な意見。

まずは小規模消防本部の解消から取り組んだ方が現実的ではないかと思う。

共同指令が進んだのは、指令業務だけ共同としており、実際の部隊は各首長の権限で動かせるからだろう。消防の広域化で当市に何のメリットがあるのか見いだせない。

「自主的な市町村の広域化」と法律に明記されている中で、少なくとも14本部は広域化を望んでいない。そのような意見を汲み取っていただきたい。

(議長)

小規模消防本部の解消を優先すべきとの意見はごもつともである。いきなり2ブロックの広域化だけを目指しなさいということは乱暴であるため、いただいたご意見を踏まえた素案を次回提示できればと考えている。

#### 【議事(5)今後のスケジュールについて】

(委員) 意見なし